

2013 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 事業の成果

- ・ NPOの組織力、事業力を高め、NPO間のネットワークづくりを促進することが地域の課題解決力の向上につながると考え、NPOを主な対象とする講座「ちばNPO^{がっこう}楽講」の開催に力を入れた。また、講座開催に際し、我孫子市、印西市、市原市、浦安市の市民活動支援センターの協力を得ることで、講座広報の充実と団体への継続支援につながっている。
- ・ 前年度に引き続き、「四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業」を受託実施した。四街道市みんなで地域づくりセンターの運営を行い、様々な事業を企画・実施するとともに、センタースタッフの研修を通してセンター機能の充実を進めた。
- ・ 前年度に引き続き、福島県浪江町復興支援員千葉県駐在の活動をサポートするとともに、福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業の補助金を得て、東日本大震災により千葉県内に避難している福島県を中心とする東北3県からの避難者の支援を行った。
- ・ 県内の複数の自治体や千葉県生涯大学校主催の市民参加、協働に関する講座講師を担当し、市民活動の促進や行政とNPOの協働を促した。
- ・ NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を担当し、実行委員会形式による「ちばユニバーサル農業フェスタ」を前年度に引き続き開催した。
- ・ 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金の活動を支援し、新しい資金循環の道筋を作った。

① 組織の運営

- ・ 会員は、運営会員 30 名、一般会員 111 名となっている。前年度に比較して、全体で 1 名増加した。
- ・ 定例理事会を年 5 回開催した。

7/11 年間事業計画、9/12 中間点検、12/12 今年度まとめ、3/13 次年度計画案 5/8 総会議案

- ・ 団体の事業や計画を執行するという理事会本来の役割を実現できるように理事会メンバーを中心としたプロジェクトを設置し、事業を推進した。

○福祉作業所ものづくり応援プロジェクト（事業推進のための会議を 5 回開催、「千葉のいいものカタログ 2013-2014」を編集、発行）

○NPO専門家相談ネットワーク（専門的な内容の相談について、つないでアドバイスを受けた）

- ・ 団体の立ち上げ、NPO法人設立、会計などの相談者には会員加入を促し、継続したサポートを実施した。

- ・事務局は12名（四街道市みんなで地域づくりセンター5名を含む）の体制で運営した。

② 相談事業・NPOの支援事業

相談事業

- ・事務所で日常的に相談を受け付け、「会計」「事業報告書の作成」「活動団体の紹介」「法人の運営」などの相談に対応した。事務所での相談は17件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は57件、年間で74件の相談件数となっている。
- ・船橋市市民活動サポートセンターでの相談事業を「NPO支援組」（NPO法人子ども劇場千葉県センターとの共同団体）として受託実施、全8回の相談会を開催、相談総件数は17件だった。
- ・佐倉市市民公益活動サポートセンターの相談会（11/24）を開催した。

講座、講師派遣事業

- ・ちばNPO^{がっこう}楽講として、9講座を企画、開催し、参加人数は合計206名だった。開催にあたっては我孫子市、印西市、市原市の市民活動支援センターの協力を得ている。

思わず参加したくなる！募集チラシの作り方、ソーシャルライター入門講座、はじめて会計担当になったあなたのためのNPO会計の基礎知識、リスクに備えるチカラをつける！NPOのリスク管理、NPO法人の税務、今、知りたいソーシャルメディア Facebook&ブログの活用すぐに使える助成金申請書作成&プレゼンテーションのコツ、NPO法人の決算書類作成講座
NPO・社会起業家マーケティング講座

- ・NPOと行政との協働や団体のマネジメント、市民の地域づくり活動への参加等についての講座の企画、講師派遣を行った。
- ・I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]との共催で、自治体における「社会責任」（SR）への取組み調査報告会 in ちばを開催した。
- ・ちばNPO協議会との共催で、被災地・被災者支援学習会「災害時、NPOはどういう役割を果たせるか？」を開催した。

③ NPOと地域のためのコーディネート事業

四街道市みんなで地域づくりセンターの運営（地域づくりコーディネーター業務委託事業）

四街道市の委託事業として、みんなで地域づくりセンターの運営を行った。センター事業の企画・実施、センタースタッフの研修を通して、センター機能の充実をすすめた。

- ・地域づくりサロン「マップ活用交流会」の開催をもとに「四街道マップ活用交流会」が立ち上がり、魅力発信基地づくり、マップのWeb化等に取り組んでいる。
- ・地域づくりサロンとして、「自治会情報交換会」を継続開催するほか、地域づくりサロンをもとに立ち上がった日替わりシェフの店「さくらそう」や「よつグルメ研究会」の活動を支援した。

- ・ あらたに地域づくりサロン「コミュニティCaféをつくろう！」を開催し、地域の拠点づくりのための活動を支援した。
- ・ 「福祉施設紹介・販売フェア大きなテーブル」「夏休み小学生ボランティア体験」「地域づくり体験プログラム『コラボラ』」を引き続き開催し、地域づくりに関わる市民の広がりを進めた。
- ・ 地域づくりに関する講座・講習会として、「ミーティングファシリテーション講座」、「みんなで地域づくり」を進めるための「コラボ塾」や「ママのための起業講座」等を開催した。
- ・ センター事業をもとに誕生した「四街道こども記者クラブ」の支援や、公民館事業「あさひ寺子屋」に企画・協力、社会人や大学生・高校生などの参加が多く得られた。
- ・ 4月に開設したホームページやブログ、Facebook、ツイッター、センターニュースにより、センター事業や市民活動団体情報、助成金情報等について発信した。

福祉作業所のづくり応援プロジェクト

- ・ 日本郵便年賀寄附金の助成金（50万円）を得て、福祉施設商品の通年カタログ「千葉のいいものカタログ2013-2014」10,000部と期間限定ウェブサイトを作成した。エントリー説明会（5月）・意見交換会（12月）を開催し、事業所間の意見交換の場をつくった。

福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業

東日本大震災により東北3県から避難し、千葉県で暮らす被災者を支援した。

- ・ 被災者間、被災者と地域住民の交流を進めるために、日帰りバス旅行10/17や「縁 joy 東北大交流会」11/16、2/23を開催した。
- ・ 避難先での生活情報や支援情報を掲載した被災者向け情報紙「縁 joy」を作成、被災元自治体の協力を得て、県内に避難している被災者世帯に送付した。（9月から毎月発行）
- ・ 被災者支援の活動を行っている団体、専門家（臨床心理士、保健師等）、福島県職員、千葉県職員の参加を得て、被災者支援情報交換会を8/3、9/7、10/5、12/14に開催した。
- ・ ちばNPO協議会との共催で、被災者支援活動と災害時のNPOの役割についての学習会を3/4に開催した。

浪江町復興支援員支援事業

東日本大震災から3年が過ぎた今も、千葉県内では約600名の町民が避難生活を送っている。多くの生活の不安を抱えている浪江町民の暮らしを支えるために、平成24年8月から、浪江町千葉県駐在として復興支援員が3名配置され活動を継続している。公益財団法人東北活性化研究センターおよび浪江町役場からの受託事業として、復興支援員の活動のサポートを行った。

景観まちづくりフォーラム

- ・ 「景観まちづくり千葉協議会」を継続して開催した。県との協働事業「景観を大切にしまちづく

りフォーラム」を11/9に、いすみ鉄道国吉駅周辺のフィールド見学、大多喜駅周辺の散策とパネルディスカッションを実施した。

SAVE JAPAN プロジェクト

- ・ 日本NPOセンターと損保ジャパン/日本興亜損保が協働で実施する希少生物保護活動事業を受託、アユの観察会7/21と都川保全活動12/14を都川の環境を考える会とともに企画実施した。

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金への支援

- ・ 事務局職員として1名出向し、財団の事業を支援するとともに、役員として財団の運営に関わった。

NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

地域創造ネットワークちばとの委託契約に基づき、事務局業務を行った。

- ・ 第7回総会を5/27に、理事会は7/23、11/26、2/25、4/22に開催した。
- ・ 農を通じて様々な人たちが出会い、交流し、働きあう「ユニバーサル農業」を広めるために、ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会を継続して運営、「第3回ちばユニバーサル農業フェスタ」を10/26(土)四街道市文化センターで開催、当日は台風のために屋内開催になった。(参加31団体、20団体がキャンセル、来場者数800名)他に、千葉市メイプルイン幕張で11/9に、佐倉市御伊勢公園で9/28に開催した。

ちばNPO協議会の事務局業務

- ・ ちばNPO協議会の事務局を担い、幹事会は8/20、10/22、12/17、2/18に開催した。
- ・ 東日本大震災被災地・被災者支援学習会として、7/6に「被災地支援・避難者支援を続ける中で見えてきたこと」、3/4「災害時NPOはどういう役割を果たせるか」を開催した。
- ・ 千葉県「NPOとの交流体験セミナー」県職員13名が6団体のプログラムに参加した。
- ・ 千葉県「NPOの日」や「県民活動フェスティバル」でのリーフレット配布やNPOのアピールに協力した。

風の村ファームの取組み

- ・ 生活クラブ生協の生産者の畑(八街市八街)の利用者募集と事務手続きを行い、利用者交流会を開催した。

④ 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」(48号~50号)を年3回、毎回1,000部発行した。紙面は、NPOクラブの事業案内、「女性の起業・千葉をデザイン」「食」につながる農業を大事にし、新しいチャレンジを!」「子どもの育ちを支える」をテーマにした活動団体の取材記事等で構成し、会員のほか、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布した。
- ・ 掲載する情報を会員から広く募集し、メールマガジン「通信・一步くん」を月2回配信した。
- ・ より適切な情報提供を目指して、NPOクラブホームページを4/1にリニューアルオープンした。

ホームページとあわせて、「公益ポータルサイトちばのWA!」、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」、Facebook ページを適時更新した。またツイッターでの情報発信も行った。

⑤ 他団体との連携・協力事業

- ・ 生活クラブ千葉グループ連絡協議会およびユニバーサル就労ネットワークちばに参画した。
- ・ 千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参加し、県内 19 市町村が設置する市民活動支援センターとの連携をすすめた。
- ・ 公益財団法人京都地域創造基金が実施する内閣府「ノウハウ移転、調査事業」に参画、「市民コミュニティ財団」を設立した 10 団体間で、社会的な意義、ノウハウについて共有した。
- ・ 一般社団法人ユニバーサル志縁社会創造センターの運営に参加した。
- ・ 国交省の社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会に就任している。
- ・ 千葉県県民活動推進懇談会、千葉県協働アドバイザー委員会に就任している。
- ・ 浦安市、四街道市、栄町、千葉市、大網白里市、八千代市、船橋市、松戸市、印西市、習志野市の委員会等に市民・NPOの立場で関わった。
- ・ 「東北圏地域づくりコンソーシアム」の依頼を受け、福島県浪江町から関東圏に避難している町民への取材協力を行った。作成した原稿は、役場発行の「広報なみえ」に連続掲載されている。
- ・ 東京成徳大学「キャリアデザイン実習」として、8月に3年次学生3名をインターンシップ受入れた。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニューズレター「つぎの一步くん」の発行	年 3 回	当事務所	2 名	会員 141 名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 会員 141 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	・メールマガジン「通信・一步くん」の配信	毎月 2 回	当事務所	1 名	
	・団体ホームページ、ブログ、Facebook 等での情報発信	随時	当事務所	2 名	
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】 ・ちばNPO楽講	通年	千葉市	7 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 9 講座 受講者数 206 名
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応	通年	当事務所	6 名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 17 件 相談件数 57 件 相談件数 0 件
	・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談	通年	四街道市	6 名	
	・佐倉市相談会	11 月	佐倉市	2 名	
	【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】	通年	四街道市	5 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 入館者総数 6,002 名 相談件数 57 件
	【ちばNPO情報館】	通年	千葉県内	4 名	市民活動・市民事業を行う団体 登録 196 団体
	【福祉作業所ものづくり応援プロジェクト】	通年	千葉県内	2 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業】	通年	千葉県内	3 名	東日本大震災により千葉県内に避難している被災者、支援を行う団体
	【浪江町復興支援員千葉県駐在支援事業】	通年	千葉県内	2 名	東日本大震災により千葉県内に避難している福島県浪江町町民
	【SAVE JAPANプロジェクト】	通年	千葉県内	2 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【景観まちづくりフォーラム】	通年	千葉県内	2 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】	通年	千葉県内	2 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【ちばNPO協議会事務局業務】	通年	千葉県内	2 名	市民活動・市民事業を行う団体
	【風の村ファームの取組み】	通年	千葉県内	1 名	市民一般
【自治体、他団体との連携・協力業務】 委員会等にNPOの立場に関わるとともに、講座等の講師を担った。			関東圏及び千葉県内	3 名	・国交省、千葉県、浦安市、四街道市、栄町、千葉市、大網白里市、八千代市、船橋市、松戸市、印西市、習志野市 ・公益財団法人京都地域創造基金ほか市民立の財団 ・一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム ・中間支援組織